

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について

平成29年4月18日に小学校6年生と中学3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果を報告します。

1 調査への参加状況

学校種別	校数	参加児童生徒数
小学校	21校	1,852人
中学校	8校	1,875人
合計	29校	3,727人

2 教科に関する調査の結果から

全国学力・学習状況調査の対象であった小学校6年生と中学校3年生全体の状況を、全国公立学校全体の状況と比較して、教科別・**A Bの区分別**に「たいへんよくできている」「よくできている」「おおむねできている」「やや劣っている」「努力を要する」の5段階で示し、それぞれの教科で優れている内容と課題のある内容の一部を紹介する。

※◎：大変優れている ○：優れている △：課題がある ▲：より課題がある

<小学校6年生の状況>

国語A（主として知識） 「努力を要する」

△手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択することに課題がある。

△目的に応じて、文章の中から必要な情報を見付けて読むことに課題がある。

△ことわざの意味を理解して、活用することに課題がある（「もちはもち屋」）。

▲学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書いたり読んだりすることに課題がある。

▲書かれている内容の説明として適切なものを選択することに課題がある。

▲古文を音読して気が付いたことの説明として適切なものを選択することに課題がある。

▲俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択すること（擬態語が何を表しているのか想像すること）に課題がある。

国語B（主として活用） 「努力を要する」

△スピーチの練習の様子を記録した動画を見る目的が何なのかを、文章から探し出すことに課題がある。

△目的や意図に応じて「話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話す（書く）」「引用して書く」「必要な内容を整理して書く」「自分の考えを書く」ことに課題がある。

▲目的や意図に応じて、文章全体の構成を考えることに課題がある。

算数A（主として知識）「努力を要する」

△商を分数で表すことに課題がある。

△資料を二次元表に分類整理することに課題がある。

△資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めることに課題がある。

▲1より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し、数量の関係を数直線に表すことに課題がある。

▲加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることに課題がある。

▲高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解することに課題がある。

算数B（主として活用）「おおむねできている」

◎仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述することに優れている。

△示された式の中の数の意味を、表と関連付けながら正しく解釈し、それを記述することに課題がある。

▲問題に示された二つの数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを記述することに課題がある。

▲割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことに課題がある。

<中学3年生の状況>

国語A（主として知識） 「おおむねできている」

○文脈に即して漢字を正しく書くことに優れている（店をイトナむ）。

○古典（「徒然草」）の作品の種類として適切なものを選択することに優れている。

▲文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある（キボを大きくする）。

▲語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことに課題がある。（ことわざ、慣用的表現、敬語、接続詞など）

▲楷書と行書との違いを理解することに課題がある。

国語B（主として活用） 「よくできている」

◎場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解することに優れている。

○（文章化された）スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直すことに優れている。

数学A（主として知識） 「よくできている」

◎等式を目的に応じて変形することに優れている。

◎連立二元一次方程式を解くことに優れている。

○分数の乗法の計算ができる。

○加減乗除を含む正の数と負の数の計算において、計算のきまりにしたがい計算することに優れている。

○数量の関係を文字式で表したり、与えられた文字式の意味を、具体的な事象の中で読み取ったりすることに優れている。

- 数量の関係を一元一次方程式で表すことに優れている。
- 命題の仮定と結論を区別し、与えられた命題の仮定を読み取ることに優れている。
- △多角形の内角の和の求め方を理解することに課題がある。
- △与えられた一次関数の表において、変化の割合の意味を理解することに課題がある。
- △与えられた度数分布表について、ある階級の相対度数を求めることに課題がある。
- ▲範囲の意味を理解することに課題がある。

数学B（主として活用） 「よくできている」

- ◎付加された条件の下で、図形の性質を用いて角の大きさを求めることに優れている。
- 図形間の関係や図形の移動に着目して観察し、対称性を的確に捉えることに優れている。
- 与えられた説明の筋道を読み取り、事象を数学的に表現することに優れている。
- 与えられた模様について、図形の移動に着目して観察し、対称性を的確に捉えることに優れている。

3 質問紙調査の結果から（生活や経験について）

全国と比較し、安城市の児童生徒が「よいと思われる回答（○）」をした項目と「課題があると思われる回答（△）」をした項目の主なものを列記する。

<小学校6年生>（全国の割合との比較）

【よいと思われる回答】

- 地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりする。
- 今住んでいる地域の行事に参加している。

【課題があると思われる回答】

- △家で、自分で計画を立てて勉強したり、学校の授業の予習・復習をしたりしている。
- △地域や社会をよくするために何をすべきかを考える。
- △難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
- △学級会などの話合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている。
- △5年生までに受けた授業で、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめをノート書いた。
- △5年生までに受けた授業で、課題に対して自ら考え、自分から取り組んだ。
- △5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行った。
- △5年生までに受けた授業では、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと感じた。
- △5年生までに受けた授業で、道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりした。
- △5年生までに受けた授業では、学級やグループで話し合いながら整理して、発表する学習活動に取り組んだ。

△5年生までに受けた授業では、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えた。

△5年生までに受けた授業では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表した。

△5年生までに受けた授業では、目標（めあて・ねらい）が示されたと感じた。

△国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。

△学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。

△地域社会などでボランティア活動に参加したことがある。

△国語の授業の内容はよく分かる。

△先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。

△国語の勉強は好き。

△国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。

△国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。

△学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることが難しいと感じている。

△400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思っている。

△算数の授業の内容はよく分かる。

<中学校3年生>（全国の割合と比較）

【よいと思われる回答】

- 家で、学校の授業の予習をしている。
- 地域社会などでボランティア活動に参加している。
- 今住んでいる地域の行事に参加している。
- 家で、学校の宿題をしている。
- 家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来る。
- 新聞を読んでいる。

【課題があると思われる回答】

- △家で、学校の授業の復習をしている。
- △地域や社会で起こっている出来事に関心がある。
- △1、2年生のときに受けた授業では、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があった。
- △1、2年生のときに受けた授業では、目標（めあて・ねらい）が示されていた。
- △1、2年生のときに受けた授業で、道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいた。
- △1、2年生のときに受けた授業では、ノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていた。
- △将来の夢や目標を持っている。
- △外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい。
- △家で、自分で計画を立てて勉強をしている。

△難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
△先生は、あなたのよいところを認めてくれている。
△毎日、同じくらいの時刻に寝ている。

4 学力と学習状況との関係から

安城市の児童生徒を正答数の大きい順に整列し、人数比率により25%刻みで4層（高い順にA～D層）に分け、質問紙結果を比較し見られる傾向の主なものを記載した。

<小学校>

正答率が高い層ほど

- ・朝食を毎日食べている児童が多い。
- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがあると答えた児童が多い。
- ・授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていると答えた児童が多い。
- ・家の人が授業参観や運動会などの学校の行事に来る児童が多い。
- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしたり、学校の宿題をしたり、予習・復習をしたりしている児童が多い。
- ・地域や社会で起こっている問題やできごとに関心があると答えた児童が多い。
- ・読書が好きと答えた児童が多い。

D層の児童は、他の層に比べ

- ・図書館に行かない児童が多い。
- ・家の人と学校のできごとについて話す児童が少ない。
- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがあったと答えた児童が少ない。
- ・今住んでいる地域の行事やボランティア活動に参加していると答えた児童が少ない。
- ・1日あたりテレビ、ビデオ、DVDを見ている時間が4時間以上と答えた児童が最も多い。
- ・1日あたりテレビゲームをしている時間は、ABC層は、1時間より少ない児童が最も多く、D層は、1時間以上の児童が最も多い。4時間以上の割合も20%前後に上る。

国語 AB の正答率が高い児童ほど

- ・読書量が多い。

<中学校>

正答率が高い層ほど

- ・朝食を毎日食べていると答えた生徒が多い。
- ・友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意と答えた生徒が多い。
- ・授業で学んだことをほかの学習や普段の生活に生かしていると答えた生徒が多い。
- ・テレビやビデオ、DVDを見たり聞いたりする時間が少ない。
- ・携帯・スマートフォンを持っていない生徒が多い。
- ・図書館へ行かないと答えた生徒が少ない。
- ・家の人と学校のできごとについて話をする生徒が多い。
- ・家の人が授業参観や運動会などの学校の行事に参加する生徒が多い。
- ・家で、自分で計画を立てて勉強している生徒が多い。
- ・地域や社会で起こっている問題やできごとに関心があると答えた生徒が多い。
- ・地域社会などでボランティア活動に参加したことがあると答えた生徒が多い。

- ・外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う生徒が多い。
- ・将来外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思う生徒が多い。
- ・学校の規則を守っていると答えた生徒が多い。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思っている生徒が多い。

A層は、他の層と比べ

- ・新聞を読んでいると答えた生徒の割合が高い。

D層は他の層と比べ

- ・1日あたりテレビゲームを4時間以上している生徒が多い。
- ・携帯・スマートフォンの使用時間が長い生徒が多い。
- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがあるかに対する回答に「当てはまる」と答えた生徒が少ない。
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る生徒が少ない。

国語 AB の正答率が高い生徒ほど

- ・読書が好きと答えた生徒が多い。